



園長先生カンファレンス 2026

タイムテーブル

10/
20^火

DAY 1

11:00～11:10

園長カンファレンス2026 開催のご挨拶

株式会社コドモン 代表取締役 小池 義則

11:10～12:40

パネルディスカッション
&
質疑応答

こども性暴力防止法の本質と現場の実践

ー子どもの安全と温かい保育を両立する施設づくりー

左：こども家庭庁支援局参事官（こども性暴力防止担当） 吉田 昌司

右：上智大学総合人間科学部心理学科 准教授 齋藤 梓

中央：一般社団法人Rights of the Child 代表理事 岸本 貴裕



学びのポイント

- 自施設が今すぐ取り組むべき初動がわかる
- 「過度に萎縮した保育」が現場や子どもに与える影響を理解する
- 全員が納得してのびのび保育を続ける方法を学ぶ

13:10～14:10

パネルディスカッション

“キレイゴト”では進まない「多機能化」のリアル

ーなぜ今、保育園が新しい事業へ踏み出すのかー

左：東京大学大学院教育学研究科 特任教授 野澤 祥子

中央：認定こども園 星の子保育園 園長 中西 淳也

右：社会福祉法人山ゆり会（まつやま保育園グループ）理事長 松山 圭一郎



学びのポイント

- 「自施設のこれから」を冷静に考えるための視点がわかる
- 職員が主体的になるまでの実際のプロセスを知る
- 多機能化の前に見つめ直したい「自施設の強み」を考える

14:20～15:20

パネルディスカッション

昔と今、保育は何が変わって何が変わらないのか

ー世代の壁を超えて強みを活かし合う、
これからの園づくりー

左下：学習院大学 教授 秋田 喜代美

左上：社会福祉法人清香会 開発推進部 松本 涼子

右下：社会福祉法人清香会 高円寺とるばんぶきんず 園長 竹田 珠舞未

右上：社会福祉法人檸檬会 副理事長 青木 一永



学びのポイント

- 変えることの難しさと、その背景にあるものを考える
- 世代の異なる職員が「歩み寄り」のためのすり合わせのヒントを得る
- 職員全員の「子どもを想う気持ち」を起点にした、歩み寄りのマネジメントがわかる

15:20～15:30

1日目終了のご挨拶・明日のご案内

10/
21^水

DAY 2

11:00～11:10

2日目のご挨拶

11:10～12:10

パネルディスカッション

「何でも言ってね」が届かないのはなぜ？

ー悪気のない報告遅れのメカニズムー

右：京都大学 人と社会の未来研究院 教授 阿部 修士

左：社会福祉法人愛佳会 法人本部 統括園長 坂本 太郎

中央：洗足こども短期大学 幼児教育保育科 教授 井上 真理子



学びのポイント

- 「何でも言ってね」が届かない理由と人間心理を知る
- 個人の理性に頼らない「報告しやすくなる仕組み」を学ぶ
- 報告を受けた時の「園長自身の関わり方」のポイントを知る

DAY 2の続きは次ページへ →

10/
21^水

13:10～14:10

パネルディスカッション

連携セッション



記録でつなぐ園内の対話

ー「こどもの育ちを支える語り合い」を、園の文化へー

左：玉川大学教育学部 教授 大豆生田 啓友
右：ベネッセ 日吉保育園 園長 伊東 雄飛
中央：株式会社ベネッセスタイルケアグループ Kids&Family事業本部 酒井 あすか
企画：株式会社ベネッセスタイルケアグループ



学びのポイント

- 子ども理解につながる記録のポイントがわかる
- 対話から保育が変わる具体的な実践を知る
- 振り返りの仕組みづくりの事例を知る

14:20～15:50

パネルディスカッション

&

質疑応答

「伝えつつも」を卒業する！

ー現場のすれ違いを解消する、リアルな「対話」のプロセスー

左：熊本大学大学院教育学研究科 准教授 苫野 一徳
左：社会福祉法人愛佳会 法人本部 統括園長 坂本 太郎
中央：株式会社カタグルマ 代表取締役社長 / CEO 大嶽 広展
ゲスト参加者 他2名



学びのポイント

- 言葉の「受け止め方」が人によって異なる原因を理解する
- 園内の「すれ違い」を解消する対話の進め方を知る
- 「これならできる!」と実感できる、明日からの関係性を深めるヒントを得る

15:50～16:00

2日目終了のご挨拶・明日のご案内

DAY 3

10/
22^木

11:00～11:10

3日目のご挨拶

11:10～12:10

パネルディスカッション

義務化を機に考える、カスハラ対策の基本

ー日野市の事例から紐解く施設を守るための備えー

左：株式会社福祉総研 社会保険労務士 湊崎 端穂子
右：日野市子ども部保育課 課長補佐 飯野 成路
中央：株式会社コドモン 海外事業推進部 兼 コーポレート本部 法務担当 多田 昂正



学びのポイント

- 10月の義務化に向けて、園長として知っておくべき対策の基本がわかる
- 日野市がいち早く動いた背景と、具体的な対策を学ぶ
- 園長自身が心折れず、職員と保育を守り抜くための備えがわかる

13:10～14:10

パネルディスカッション

「AI ってなんだっけ？」から考える施設運営の未来

ー心強い味方にするための、
知っておきたい活用事例と押さえるべき注意点ー

左：社会福祉法人種の会 理事長 片山 雄基
右：株式会社とりんく 代表取締役 山中 健太郎



学びのポイント

- 施設全体の苦手意識や、導入初期の戸惑いを味方に変えたプロセスを知る
- 情報漏洩の不安を解消する、環境の考え方や運用のルールがわかる
- 業務省力化にとどまらない、自施設でのAI活用の新たな可能性を探る

14:20～15:50

パネルディスカッション

&

質疑応答

それでも、私が園長を続ける理由

ー揺れる時代に「立ち続ける」という選択ー

左上：社会福祉法人 愛川舜寿会 カミヤト凸凹保育園 園長 瀬山 さと子
左下：学校法人くるみ学園 認定こども園 くるみこども園 園長 戸巻 聖
右上：社会福祉法人 鎌倉たんぽぽ会 たんぽぽ共同保育園 園長 浅野 高史
右下：株式会社 granpocke / sansui 保育園 取締役 山本 園子



学びのポイント

- 「完璧さ」より「対話と信頼」をベースにした、これからの組織づくりのあり方を知る
- プレッシャーを抱え込まず、自分らしく「園長を続けられる」心の保ち方のヒントを得る
- 職員が夢を持ってワクワク働く環境が、子どもにもつながっていく循環の事例を知る

15:50～16:00

今後のコドモンカレッジのご案内

園長先生カンファレンス2026 終了のご挨拶